令和７年度防災復興支援研究計画書

※計画書中の例示・注釈文（ピンク文字）は提出時に削除してください。

（基本情報）

|  |  |
| --- | --- |
| 申請区分 | □学内単独／学内チーム型　　　　　□外部連携プロジェクト型  （選択した区分を■としてください。） |
| 研究代表者  注１ | （所属大学・所属学部等・職・氏名） |
| 共同研究者  （研究機関等） | 研究機関・団体等名：  代表者：（職・氏名）  担当者：（職・氏名）  住　所：〒000-0000　岩手県○○○  連絡先：TEL　000（000）0000　　E-mail　△△△＠△△△.co.jp |
| 研究課題名 |  |
| 重点項目 | □避難対策　　　　□防災体制強化　　　□まちづくり  □なりわいの再生　□伝承・発信・教育  （研究内容を表す項目を■としてください。） |
| 研究期間　　　注２ | 令和７年　月～令和　年　月 |
| 研究フィールド | （市町村名を記載してください。） |
| 研究協力者  （パートナー）  注３ | （共同研究者以外に研究への協力者がいる場合に、所属・職名・氏名を記載してください。） |
| 研究の概要 | ① 解決を目指す課題（何を解決するのか）  ② 実施方法･取組の概要  （各300字以内で簡潔に記載し、詳細は後頁｢研究課題の内容｣に記載してください。） |
| 期待される効果 | （400字以内で簡潔に記載し、詳細は後頁｢研究課題の内容｣に記載してください。） |
| 研究費計画　　注４ | 千円 |

注１）　研究代表者として応募できる研究課題は、１件のみです。（共同研究者として複数の研究課題に参画することは可能。）また、定年等で退職の予定がある場合、本研究の応募資格を有する期間を超えた研究期間を計画することはできません。

※本研究の応募資格：

【提案型】公立大学法人岩手県立大学組織規則第9条第1項に規定する教員、同条第2項に規定する特任教員及び法人と雇用関係にある研究員並びにこれらのいずれかを研究代表者とする研究組織

【プロジェクト型】科学研究費申請有資格者

注２）　申請可能な研究期間は最長２年間（令和９年３月までの範囲）です。ただし、２年目の採択を確約するものではありません。）

注３）　研究協力者からは、事前に協力の了承を得ることにより円滑な研究活動が行えるよう配慮してください。

注４）　申請可能な研究費は、1,000千円以内です。

（研究課題の内容）

Ⅰ.研究の目的

(1) 解決すべき課題及び研究の必要性【必要性・重要性】

※ p.1で選択した重点項目に係る地域の課題・ニーズと関連する先行研究について記載し、それを踏まえて、本研究を行うことの必要性・重要性などを記載してください。

(2) 研究の達成目標【目標設定の妥当性】

※ 研究終了時の達成目標（何をどこまで明らかにしようとするのか）について、具体的に記載してください。併せて、それが防災・復興に係る地域課題の解決という最終目標に向けて妥当であることを説明してください。

Ⅱ.研究の方法

(1) 研究の実施方法・取組【手法の妥当性・実行可能性】

※ 研究の実施方法と具体的な取組について記載してください。

(2) 研究の実施体制【手法の妥当性・実行可能性】

　　(2)-1　実施体制の構成図

※ 研究グループの構成や相関関係、役割分担を分かりやすく図示してください。

研究協力者がいる場合には、その関係も記載してください。

　 (2)-2　研究の実施者

＜記載例＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属機関・部局** | **職名** | **エフォート** | **実施項目** |
| 研究代表者  ○○ ○○ | ○○大学  ○○学部 | 教授 | ○○% | 統括／○○の方法論の構築、評価 |
| 研究分担者  ○○ ○○ | ○○大学  ○○学部 | 准教授 | ○○% | ○○の方法論の構築、評価 |
| 研究分担者  ○○ ○○ | ○○大学  ○○学部 | 講師 | ○○% | ○○のデータ解析 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※ 実施者は実際に研究を行う人であり、協力者とは異なります。

※ エフォートには、実施者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち本研究の実施に必要となる時間の

配分率（%）を記載してください。

※ エフォートは研究機関に所属する方のみ記載してください。（学生、地域団体の方は不要です。）

※ 必要に応じて行を追加してください。

(2)-3　研究への協力者

※ 協力者とは、研究実施者と同じ団体等には所属しない方であり、当該研究の協力に対する対価として謝礼品・謝金等を支払うことができます。研究の実施者との間での、これまでの協力関係の有無を記載してください。

＜記載例＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **所属・役職・氏名** | **本研究への協力内容** | **これまでの**  **協力関係の有無** |
| △△大学△△学部  教授　○○　○○ | ○○に関する助言、協力 | 有 |
| ○○　○○  △△会社　△△部長 | データ提供 | 無 |
| ○○　○○  △△市役所　△△部長 | ○○に関する助言、連携調整 | 無 |
|  |  |  |

(3) 研究の実施スケジュール【手法の妥当性・実行可能性】

※ 本研究の主なスケジュールを記載してください。項目は計画内容により適宜設定してください。

※　列を追加する等して、２年間の計画とすることも妨げません。（ただし、２年目の採択を確約するものでは

ありません。）

＜記載例＞

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **令和７年度（月）**  6　　　7　　　8　　　9　 　10　 　11　 12　 　1　　　2　 　3 |
| アンケート調査 |  |
| ○○地域のヒアリング |  |
| 収集データの解析 |  |
| ○○手法の開発 |  |
| 〇〇地域での実験 |  |
| 評価実施と効果検証 |  |

【スケジュールの説明】

※ 研究の実施方法・取組を踏まえ、主な実施項目及び期間の妥当性・必要性について記載してください。

※ マイルストーンがあれば、時期と評価項目を記載してください。

※ 研究を実施する上で想定される障害とそれに対応する方策についても記載してください。

(4) 研究を実施する上での倫理的な問題【手法の妥当性・実行可能性】

※ 研究の実施に際して、研究計画に対する倫理審査の必要性の有無及びその理由を記載してください。

必要な場合には、倫理審査の対応計画を記載してください。

(5) 研究経費の妥当性・必要性　【金額の妥当性】

※ 研究の実施方法･取組を踏まえ、研究~~経~~費の妥当性･必要性･積算根拠について記載してください。また、各費目で、特に大きな割合を占める経費（全体の研究費の7割を超える）がある場合には、当該経費の内訳及び必要とする理由等について記載してください。

※ 研究経費の使用ルール等は、「公立大学法人岩手県立大学研究費マニュアル」に準じます。

(6) 研究終了後の継続性【活動の自立性･持続性】

※ 研究終了後の成果の普及・展開の道筋を、プロセス、実施体制、経済的な持続性・効率性、地域のニーズ等の観点から記載してください。

※ 活動継続のための計画（各種競争的資金への応募等）があれば、記載してください。

Ⅲ.研究の効果

(1) 期待される地域への効果【地域への寄与度】

※ 本研究の成果により得られる、社会的、経済的、技術的な効果について記載してください。

※ 本研究の成果を地域へ還元する具体的な方法について、また、将来的な他地域への展開可能性について記載してください。

(2) 期待される人材育成への効果【人材の育成】

※ 防災・復興に関わる人材の育成に対して、本研究がどのようにつながるか記載してください。

Ⅳ.これまでの活動実績及び研究成果

(1) 研究実施者の調査・研究の成果

※ これまでに行ってきた研究のうち、本研究の立案に生かされているものを選定して、その研究成果を記載してください。

＜記載例＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 活用した制度名 | 研究課題名 | 期間 | 研究費（期間全体） | 研究代表者 |
| 科研費C | ○○○○○○○○○○ | R4～6 | 千円 |  |
|  |  |  |  |  |

【研究成果の概要】

※ 専門家以外にも分かるように平易な文章で記載してください。図表等を用いても差し支えありません。

※ 学会等での発表成果については、直近のものから順に、学会等名、発表形態（査読の有無）、テーマなどを記載してください。

(2) 地域団体等の活動・取組の実績

※ 本研究の立案に関連するこれまでの活動･取組の成果、実績及びその時期を記載してください。

（研究費の見込み）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　　　　目 | 支出予定額 | 支出予定額の内訳 |
| 謝　　　　　金  （消耗品購入）  （備品購入）  使用料、賃借料  委　　託　　費 | 円 | ≪内訳の記載例≫  謝金の場合）  　分析データ入力　＠000円／日×○人×○日＝0,000円  旅費の場合）  　仙台0,000円（○泊○日）×○人×○回＝00,000円  　　新幹線往復（○○～○○）　0,000円×0回＝0,000円  現地経費　　0,000円×0日＝0,000円  　　宿泊料　　　0,000円×0泊＝0,000円  備品購入の場合）  　メーカー、具体的製品名、見積金額  ※他の科目についても積算を詳細に記載のこと。 |
| 合 計 |  |  |

※　1,000千円以内で記載願います。

※　取得した備品は、岩手県立大学に帰属します。